

マンションなど
集合住宅のための

防災対策



個人で
備える
事前対策

- 家具の転倒防止対策 & ガラスの飛散防止対策
- 灯りと情報の確保
- 水・食料・トイレの準備 (3日～1週間分の備蓄が必要)

災害前に全戸の理解と協力が必要な対策

1 マンションの給水方式を確認する！

マンションの給水方式には受水槽方式と直結方式の大きく2種類があります。
管理会社に給水方式を確認し、停電時や断水時でも水を確保できるよう対策をおきましょう。



2 洗濯機用の蛇口は常に締める！

全自動洗濯機用の蛇口の栓は、使用中以外は締めておきましょう。
開栓した状態のままホースが外れると、水があふれ階下の部屋が浸水します。



3 エレベーター内に防災ボックスを設置する！

災害発生時にエレベーターが停止し、中に閉じ込められてしまうかもしれません。
エレベーター内には防災ボックスの設置が必要です。



4 室内に脱出用バールを用意する！

玄関のドアは地震の揺れによって窓枠が歪み、開かなくなることがあります。
室内に脱出用のバールを用意しておきましょう。



災害後に全戸の協力が必要な対策

1 避難前にブレーカーを落とす！

災害発生後、マンションから避難する前には必ずブレーカーを落としましょう。阪神大震災では、二次災害で発生した火災の原因の半数以上が、電気が復旧した後に起こる通電火災でした。



2 水洗トイレは流さない！

たとえ水があっても、トイレの排水管に異常があれば汚水が氾濫するため、水洗トイレは使用できません。災害発生後はトイレや水回りの使用をやめ、まずは排水管のチェックを行いましょう。



マンションならではのメリットを生かそう！

マンションには様々な立場や職業の人々が暮らしていて、多種多様な特技・知識・能力を持っています。
災害発生後に役立つ能力を持った人を事前に登録しておき、いざという時に協力してもらいましょう。